

れんがのまち江別が好き



れんが愛好者の勉強会 N43赤煉瓦塾



「えべつやきもの市」でれんがドミノの設営にも協力しています。

市民参加のれんが愛好者の集まり「N43赤煉瓦塾」（北緯43度に位置する江別を表現）は、今年で発足15年を迎えています。「れんがのまち江別」を生活の中から身近な話題として取り上げようと、れんが歴史建築物の研究で、博士号を取得した水野信太郎北翔大学教授の「れんが博士」を塾長に結成され、メンバーは現在36人。活動は、2か月に1回の例会と赤煉瓦（れんが）建築物の保存に取り組み市民団体の全国組織「赤煉瓦ネットワーク」で、毎年江別をPRしています。

例会は、れんがのミニ知識、れんが建造物の歴史のほか、文芸作品、アニメ、映画の中で使われているれんがなどの身近なれんがについて、お茶をのみながら楽しく勉強会をしています。

今年初めての屋外活動となった5月17日（土）の例会は、れんがと関係の深い、大正15年（1926年）から平成3年（1991年）まで、5本の軌道・岐線が走っていた市内の跡地を探索。物資と人を運んだ夕張鉄道、火力発電の北電石炭専用線、旧王子



塾長の水野 信太郎 北翔大学教授。
学習会は水野塾長の講義を中心に進められます。



篠津川に架かる「軌道橋」。かつての江当軌道の名残を伝えています。

製紙の原木・燃料専用線、防災ステーションの大川通り沿いにあった木材運搬の町営軌道を見学。なかでも、当別町市街から石狩大橋（篠津）まで、農産物輸送などに使われた江当軌道（11・2km）は、篠津美原30線道路の篠津川に架かる橋の欄干に「きどうばし」の記載や史跡標柱がその名残を伝え、塾メンバーも江別の産業を支えた鉄道の歴史にふれ、興味深い様子でした。

今後の塾の活動は、25周年を迎える「えべつやきもの市」のれんがドミノの設営協力や11月に群馬県富岡市で開催される「2014赤煉瓦ネットワーク富岡大会」への参加。メインは、世界遺産に登録されたれんが造りの富岡製糸工場の見学といえます。

水野塾長は「れんがは、その時代、時代の時を積み重ね、美しく魅力を増していく」と話します。「N43赤煉瓦塾」は、当日の参加費500円を払えば、だれでも自由に参加できる会です。詳細は、事務局担当の石垣さん（☎384・0219）まで。



墓石用特許
特殊ジェル 免震工法

地震の揺れを抑制し安心墓石

一般社団法人 日本石材産業協会 認定

お墓ディレクター5名在籍

墓石診断・相談を無料で承ります

施工保証

安心の施工保証付

当社独自基準の安心無償保証

誠にありがとうございます

創業50年

大奉仕感謝祭開催中

お墓のご相談・ご注文 ☎0120-38-3159

有限会社 鈴木石材工業

http://www.stone-suzuki.co.jp

◆本社・工場 TEL 382-3159

江別市高砂町25-13

◆霊園前営業所 TEL 380-1114

江別市いずみ野3-4